

平成28年度JOCジュニアオリンピックカップハンドボール大会 組合せ抽選細則

平成22年8月制定
平成26年8月最終改訂

各ブロックの出場チーム数(平成28年度 第25回大会)

	北海道	東北	関東	北信越	東海	近畿	中国	四国	九州	開催地	前年度優勝	計
男子	1	2	4	2	2	3	2	2	4	1	1 (東海)	24
女子	1	3	4	2	2	3	2	1	4	1	1 (関東)	24

- ・ 出場24チーム → 8(A~H)リーグ, 各リーグ3チーム
 - ・ 東北ブロックと四国ブロックは, 男女の出場チーム数が隔年で入れ替わる。
 - ・ 開催地 : 浦添市選抜
 - ・ 前年度優勝 : 前年度優勝した都道府県を含むブロックに出場枠を1つ与える。
平成27年度優勝 男子 … 愛知県 → 東海ブロック
女子 … 東京都 → 関東ブロック
- ※ 「前年度優勝都道府県」が予選なしで出場できるわけではない。

1 全国中学校ハンドボール大会のベスト4ブロックを振り分ける (開催地含む)

- A・H・D・Eリーグに配置する。 男子：A=富山県 H=愛知県 D・E=石川県・茨城県
女子：a=熊本県 h=石川県 d・e=熊本県・東京都

- ★ 3位ブロックの振り分け方法 (D・Eリーグ)
抽選を原則とする。ただし, 同一ブロックが複数ベスト4に残っていた場合は『3-①』を適用する。

2 ブロック第1代表の振り分け方法

抽選の条件

- ① 9ブロックを8リーグに振り分ける。
 - ・ どのリーグにも必ず第1代表が入るようにする。
 - ・ 1つのリーグに限り, 第1代表が2つ入る。
- ② 『1』によって, すでに第1代表が確定しているリーグは抽選の対象としない。

- (1) ブロックの予備抽選(平成28年度は南から。来年度は逆。以下同じ)をおこない, 抽選順を決定する。
※ 『1』より, ベスト4ブロックは確定済み。【予備抽選の対象外】
- (2) 予備抽選の順に, 各リーグへ重複しないように抽選で振り分ける。
- (3) 予備抽選の最後のブロックについては, 第1代表が重複するリーグを抽選で決定する。

3 ブロック第2代表の振り分け方法

抽選の条件

- ① 自ブロックの第1代表とは決勝でしか対戦しない逆ゾーンとする。
- ② 第1代表が2チーム入ったリーグは, 第2代表の抽選対象外とする。
- ③ 上記①②を優先し, 各リーグに第2代表が1チームになるように配慮する。
(2チームになってしまう場合もあり得る)

- (1) 『3-①』にあてはまるゾーンに振り分ける。
- (2) 両ゾーンでそれぞれブロックの予備抽選をおこない, 抽選順を決定する。
※ 『1』より, 全国中学校ハンドボール大会でベスト4であった場合は確定済み。【予備抽選の対象外】
- (3) 第2代表が重複しない場合は, 予備抽選順に抽選する。

(4) 第2代表が重複する場合は、まず重複しないように予備抽選順に抽選する。その後、重複するリーグを抽選で決定する。【2-(3)と同様】

※ 予備抽選の順で抽選できない場合は、「抽選の条件」を優先する。

4 ブロック第3・4代表の振り分け方法

※ 関東・九州ブロックともに第3・第4の決定戦をおこなっていない。(基本的に同等と扱う)

抽選の条件

- ① 予選リーグで同一ブロックのチーム同士は対戦しない。
- ② 決勝トーナメントの1回戦で同一ブロックのチーム同士が対戦しないように配慮する。
- ③ ブロック予選で第1代表に負けたチームを1番目、第2代表に負けたチームを2番目に抽選をおこなう。

○ 複数の選択肢がある場合は抽選をおこなう。上記の条件から必然的に組合せが決定する場合は抽選をおこなわない。予備抽選はおこなわない。

男子：第3：九州、近畿、東海、関東

第4：九州、関東

女子：第3：九州、近畿、関東、東北

第4：九州、関東

5 関東または九州ブロックに「前年度優勝枠」があり、ブロックから5チームの参加がある場合

抽選の条件

- 予選リーグで同一ブロックのチーム同士は対戦しない。
- ※ 決勝トーナメントに進出した場合は、必ず1組は1回戦で対戦する。

男子：九州（開催地）

女子：九州（開催地）、関東

6 その他(抽選条件にゆとりがあれば配慮する事項)

抽選の条件

- ① 予選リーグで男女同じ対戦にならないよう配慮する。
- ② 予選リーグで前年度と同じ対戦にならないよう配慮する。